

水源禪師法話集 13

(2012年9月16日 忍野合宿)

2014年9月20日

一乗会



目次

水源禪師法話	1
経典に説かれる心の速さ	1
経典と心で検証する	2
「十無益」の公案	4
質疑応答	6
数学、徳	7
不変の法	9
空とユダヤ教	10
イエス・キリストとチベット	11
ゾロアスター教とシリウスの話	13
仏教とサイエンス・フィクション (SF)	15
これからの日本	15
本当の真理を知ること	17
地獄は存在する	18
2012年に閉じた扉	19
宇宙の法は万人に平等	21
宗教の大切さ	22
一切の衆生のために	24
古代高度文明	25
7代目の人類	27
毘盧遮那仏と UFO	29
100年に1歳ずつ寿命が減る	30
劫（エタニティ）と異次元世界	32
ありとあらゆる生命体	33

水源禪師法話

経典に説かれる心の速さ

(合宿の) 最初の日は、講題が変な話もパラパラしましたが(笑)。やはりこうして精進されようというふうに皆さんは(合宿に)来て、直結的にどういうふうに精進したらよいかということで、悩んでいると思います。今回、私も非常に嬉しい報告をたくさん持っており、皆さんとともに喜べます。それにやはり日本では日本語を話して、正確に伝えられていないというところが、皆さんの精進を妨げていることがありますね。

つまり、通訳する人は体験していないからね。言葉はできても通訳できないのですよ。そういうことでね、本当にその先生が言っているかどうかについては問題があるのです。先生一人一人の独自の体験で、それが標準から見てどの点を言っているか、ということは体験者だけが分かるんです。それが非常に難しい問題でね。私が持ってきたこの経典というのも、テーラワダの素晴らしい経典なはずです。でもやっぱり抜けているところがある。大事なところがです。体験すればすぐわかるわけです。

だから、こういう本も非常に大切です。お釈迦様は光を稲妻を見て、それで自分の心の波動がどれくらいか観たと。じゃあ稲妻の光はどれくらいかということで、私が文献を調べたら 0.32 秒なのです。だから 0.32 秒の間、光っているそうです。それで、私が光のスピードとか、いろんなことを計算して割り出したのが「永遠なる未来と永遠なる過去のこの現在」は、10 ナノメートルのチッタ(心)の時空しかないわけですよ。10 ナノメートルというのは結局、1 マイクロメートルの 1000 分の 1、ナノテクノロジーの世界。

だから、なんて言うのか、もうこの現在、私のこの実体は、ちょっとした揺れで人がパッと消えるという伝説があるけど、まあ、そういう状態に生きているわけ。こういうふうに確固たる、だから、でも物理学的には、この時間の壁というのはね、結局すごいエネルギー体になっているから、結果的には宇宙船を使って、ずうっと遠く回って、その天体に行くと。ところが、こういうタイムトンネルを使えば、すぐパッと行くというわけなのですよ。だから、宇宙にはそういうタイムトンネルを自由に使いこなせる生命体もあるらしい。

お釈迦様は「この宇宙には無量の生命体がおる」と。それで一瞬にして、あの『スター・ウォーズ』じゃないけど、この地球も爆破さす力もあるし、私にとって神そのものにしか見えないというふうな生命体もおるし。でも神ではないわけです。ただ私が非常にラッキーなのは、こうして人間界に生まれて、こういう「不完全であるがゆえに究極の真理を知る状態ができる」わけ。だから、この次、あの弥勒菩薩が生まれてくるのは 10 万年の生命体の、あの弥勒菩薩は 8 万 4000 年で、去るわけなのです。

それがね、12 万年の生命体では仏が出ない。だから、この宇宙には私も実際に体験したけど、20 万年前の生命、あー、20 万年の生命体がおりますけれども、それはもう完全にあのエンジェルの体になっています。パーフェクト・ボディ、16 歳か 18 歳の体。これぞもう叡智

のかたまりと。そうなれば結局、障害がない、完全なものだから、どこが不完全か見えない。

私たちみたいに、生命体が 100 歳のときは非常に不完全がいっぱいあるものだから。アフガニスタンで人を殺しても平気だし。2500 年前のお釈迦様の頃だったら、100 年の生命体だったら、心がもっと高いものだから、そんなバカなことしないはず。2000 年前の中国では飛行機作って空飛んだら、王様が殺したわけです。科学というものはろくなものじゃない、人殺しになるって。正しい、今見たら (笑)。原爆はつくる。もう科学の発展によって、心がどれだけ破壊されたか。だから、皆さんは、今非常によい意味では良い状況に生まれているわけなのですよ。

経典と心で検証する

この経典を読んで、稲妻を見て心のバイブレーションがどのくらいのスピードであるかということをお釈迦様が分かった、ということが分かりました。自分の体を使いながら。ギリシャの文明もね、全て体、自分の体を調べて、手のここからここが 1 フィートとか、これが 1 ヤードとか。一尺という一寸とか指の長さとか、みんな体からできているわけなのです。だから、人間の身体がね、アクシデンタルに (偶然に) 出たものではなく、宇宙のこの天体の動きによって、この生命体ができているものだから、究極的には素晴らしい数学のカーブを描いてみたりしています、神殿を創ってギリシャ文明をあそこまで発展させたでしょう？お釈迦様も自分の体を観察して究極世界、物質の世界まで観てしまったわけなのですよ。心というのはそれくらいのものを持っているわけなのです。

だから、結局このお坊さんの言ったのは「十無益」の中で経典を読むときに、ただすらっと稲妻を見た。それでバイブレーションを観たと。普通はそれでおしまい。ああすごいものだ。ところが、お釈迦様は「私の言っていることが本当かどうか、こういうふうに数字を持って検証してください」というわけ。

これを私、ダーッと調べたわけです。光のスピードが大体、時間帯は 30 アト (100 京分の 1/秒) 光のスピードが大体 0.01 ミリしか進まないのですよ、1 秒間あたり。大体、私たちの感覚で。あの心というのはそれ以上に速いスピード作動してしまうから。

だから、ライジング・フォーリング (rising falling : 生滅・生成消滅) ってあるでしょう。あとカラーパ、ルーパ、物質 (微粒子)。現在は (それを) 数学的にも解析できないでしょう。できないのです。ただ数学者がこう数字を使って、一瞬にして発生して一瞬にして消えていくというライジング・フォーリング、そこまでは数学的に解明している。

それが人間の心を使えば、それを止めて分析できるわけですよ。ということで、結局そこまでやるにはどうしてもニミッタが必要でね。それも持続。はっきり言いまして 7 時間くらい必要ですよ、ぶっ続けで。それだけの力がなければね、ふにやふにやしてあんまりうまくいかない。でも、そこをやるというのは、まず前世での修行は積み重なって、そこまでいけるのであって、この一代ではできないですよ。できない。

というのは、過去無量の生命体を通してきて、10 ナノメートル (10 億分の 1 メーター)

の空間でしか私たちは生きていないわけなのです。30アトの時間帯の時間しか私たちは生きてない。だから、この数学的には瞬間に無量の10ビリオン（1兆）の宇宙がブラーッと一瞬にして通過しているわけなのですよ。 私たちには何にも分からない。この地球が他の天体から光の速さで動いているわけ、宇宙工学的には。でも、微動打に私たちは感じない。

私たちはというふうに絶妙な世界に生きていて。お釈迦様はこれくらいの情報を2500年前に教えているわけなんですよね。だから結局、達磨大師が何を残していったかと言ったら、「一切の法は影の如し、露の如し」ね。「稲妻の如し」というふうに「幻、泡、影」。それから「如露如電」と言ってね、その稲妻をそういうふうにみなさい、というふうに書かれているけれども。南伝では、稲妻のスピードを見てお釈迦様は決定したと。中国に来たときは、そういう漢文で書かれたわけ。だから、その点を心で徹底的に検証して、こういうふうにクリアにみなさいということ。ところが、私たちは、「そうか、この世というのは一切が陽炎の如し、影の如し。またその露の如き、稲妻のことなのかなあ」と、ぼやっとしているけれども、こういうふうな南伝のデータがあればね。あの無量の数とか、1+1とかいうふうに、数学的にちゃんと経典に書いているわけなのです。これを元にして私がまた解析していくわけですよ。現代風にピターッときますね。それでスッキリするわけですよ、なるほどと。

ところが、それを漢文の詩を持って解釈しようとした場合にはね、その墨でぼかした素晴らしい景色だけでも、何かフニャーっとして見えないと。そのことを私は言いたい。だから、結局あの（「十無益」のなかの）「心不返照 看経無益」（しんふへんしょう かんきょうむえき）ということが、こういうことに当たります。だから、見るのだったらそこまで、現代の徹底的な知識を持って、心でちゃんと受け止めてみなさいよ、ということ。

確かにそれをね、哲学的にガーンと見るのもいいのだけれども、じゃあ私たちは現在のテクノロジーとか、科学があるから、そこでどうなるのだと。お釈迦様はちゃんとこの数学的なとっても大切な基本をです。

$$\infty + \infty = \infty \text{ (無限+無限は無限)}$$

$$\infty - \infty = \infty \text{ (無限-無限は無限)}$$

$$\infty \times \infty = \infty \text{ (無限}\times\text{無限は無限)}$$

$$\infty \div \infty = \infty \text{ (無限}\div\text{無限は無限)}$$

なんですよ。ところが、実数としては、

$$1 + 1 = 2$$

$$T + T = 2T$$

$$1 - 1 = 0$$

$$T - T = 0$$

これが実数。この実数の存在は非常に不確かなものなのです。いまだに誰も「1+1 が 2」であるという論文を発表した人はいないですよ。なぜかと言ったら非常に簡単。

あの $1 + 1 + 1 = 3$ なんですよ。 $\times 37$ は 111。

$$(2+2+2) \times 37 = 222$$

$$(3+3+3) \times 37 = 333$$

$$(4+4+4) \times 37 = 444$$

こういうふうなことを数学者が誰も解析してないでしょ。これも 10 のタイム (10 回目) で終わるんですよ。10 で十進法。これ以降はもうパラパラパラと崩れてしまう。だから、マヤカレンダーでは 13 と 20 を使うんですよ。それで、マヤの数学はマスの中で数える数学で図形になってしまうんですよ、この対称数学の数学は、現代数学・西洋数学・日本製数学ではまだ解明されていないし、使い方も分からない。でも、あの行列式とか、今ある有名な幾何学のパターン幾何学がようやくそっちの方向法に近づこうとしている。パターン数学と言えばイスラムの模様ですね、もうマヤは知っているわけなのですよ。それプラス「ゼロ」も知っているわけ。

「十無益」の公案

だから仏教というのは、すべて総括するくらいの知識でなければ、理解できないということをお前は言いたいわけです。ただ経典をこうして読んでいるのですけれども、この経典『達摩多羅禅経』ってこれが核心。この中にちゃんとアナパナ (入出息念) も書いてありますしね。最後の経典の方でニミッタ (丹光、禅相) もちゃんと書いてあります。

禅を学びに行った人、誰もこのことを教えてもらえないはずですよ。禅の本家本元という人も誰もこのことを言わないはずですよ。達磨大師が残してくれた経典、ここからということ、はっきり言ってね、現代仏教はそこまでしなきゃいけないということ。もはやその、空が何かと言っても、空を本当に分かった先生は空を観せることができるけれども、ただ空も分からないで、「一体あなたは誰ですか」という公案もあるけれども。それじゃあ、空は観えません。

結局、私がこれ (「十無益」) を渡したのは十無益。結局 (これは) 五の公案になります、なぞなぞ。回答はしません。回答したらおしまい (笑)。あの、虎の巻を見てもなんにもならないから (笑)。だからこれを見て苦しんでください。これが分かれば空に通じますから。

まあ次はね、頭を空っぽにして坐禅しなければ意味がないと。何十年座っても。だから、さっき言ったように、現代の最先端の情報を話しましたがけれども、ほとんど皆さんが持っている学校の知識とそれは、一般常識と真理とは、かけ離れている。真理ではない、時代時代によって変わってきます。だから、次から次へと変わっていくから、いらぬものがどんどん残っているわけですね。でも、その情報で教えられているから、そういう真理でない常識をどんどん抜いてくださいというわけです。

であの、「性空 (しょうくう) にして空禅」、頭を空っぽにして坐ってください、というそういうことです。そうしたら本当の真理が心で分かります、ということをお前は言いたいわけです。「輕因望果」、宝くじに当たるよう神様をお願いして、1 億か 10 億当てたい思いで宝くじを買って因縁をつくるわけなのだけれども、因縁というのはそう簡単なものじゃないといっています。だから、そういうふうにして、この先生は偉いからと、そこに行けば、もう悟りに達するとかいうことではないです、ということをお前は言っているわけです。因縁に本当に出会うというのは非常に難しいと。どの先生方も言っています。本当の因縁に出遇って、道を求めることができるのは、例え話では大海の大亀が千年に一度、海面に上がってきて、その亀

の首を持ち上げたときに救命輪の中にスッポリとその首が入る確率と言われました。

まあそういうことで、あるお坊さんがね、「本当に前世なんてあるのかな」と言うわけなのですよ。そう思いながら、お釈迦様の説法をするわけなのですよ。だから、そういうふうな考えで、いくら苦行をしたって何したって、それは何の役にも立たないということ。特にあの魂なんてないとかさ。死んでも何もないと。ない、ない、ない。無、無。ということは、もうはっきり分かっていないわけです。

ゼロ、それ自体も分かっていない。一体、ゼロとは何かも分かってない。ただ頭で想像したゼロ。頭で想像した無限。これじゃもうお釈迦様は全然そんなこと言っていないしね。それで一般の人は「無だ、無だ、ない、ない」「そうだ、そうだ」。そんなものじゃないですよ。

まあそれで、やっぱり坐禅とかそういう、勉強をするときはね、やっぱり痛いこともあるけど、ちょっと我慢して、ちょっと辛いけれど我慢しなさいと。なんでも楽々じゃあうまくいきませんと。少しは努力をしてね。まあ苦行ではないですよ。私も最初はもう3カ月坐禅したときにまあ、まあ！地獄に入ったと思って！3カ月とお母さんから言われて、我慢してやったけども、「はい、終わった！もう天国。もう二度とやらない！」と思ったけど、今でもやっている（笑）。まあ、そういうことです。

だから、最初はね、「痛い、痛い」と思っても我慢。私もね、「お母さんから3カ月おまえはしなきゃだめ！」と言われたから。お母さん、まあお母さんの言うことだから、絶対的だから「はい、はい、はい」とやって「やあ終わって、これで天国、もうやらなくてもいい」と思ったら、いまだに続けていて…そういうことです。

実際に自分が本当に、その体験していないのに、どんなに威厳のある衣装を着てね、教会で説法をしても、それはまあなんの意味もないと。形だけでいくら勲章とかを付けても意味のないことと思います。そのカーディナル（枢機卿）とか、まあキリスト教に怒られますけれども。まあ仏教でも一緒のことですね。（もしかしたら）どの宗教でもほとんど一緒かもわからない。まあそういうふうにしても意味がないと。たとえ大学の学長であり、名前をいくら着せて、その学長の衣を着て演説しても、結局、本当に人間的に徳がない、慈悲がない、そういうふうなものを本当に持っていなくて、ただ外だけ見せても、あんまりもう意味がないですと。

まず「欠人師徳 濟衆無益」（けつにんしとく さいしゅむえき）というのも、今、日本の政治家がね、「先生、先生」と言われているけれども、やっぱり一般民衆のことを本当に考えてない。「徳」というのは、いかに人を助けるか。「仁」ですね、「仁義」の仁。人を人として本当に民衆を愛し、人と人につながり助け合わないといけない。その「義」というのは「正義」。ところが、今の政治家を見たら、なかなかそういう人がいなくて、

結局、今現在みたいに「人は救えません」と。今そういう現状だけれども。また、どんなにその評論家がね、うまい言葉で言っても、本当に心なくしてそんなこと言ったって、それは無益だと。だから、ころころころころ評論家の解説、変わるでしょう？

特に、福島原発のときは評論家、世界一の偉いといわれる方たち（の意見）がころころ変わって。「安全だ、安全だ、すべて間違いない」とかね。また、「一生乖角」（いっしょうけか

く) というのは、つまり角みみたいに威張っていて、どんなに威張っても、そのなんか偉いノベル賞とか、そういうものをもらったり、また象牙のタワー（塔）みたいな場所に住んでいる、そういう人たち、そういうところに住んでも、それは無益だと、そういうふうな生き方をしても。まあ最後は、腹いっぱい食べて、そういうふうな坐禅とか本当の勉強をしないで、しないで、ただ「ああ嬉しい嬉しい」って遊んでも、それはなんの人生としての利益がありませんと。

この「十無益」だけれども、公案は「無」です。ずーっとこれを見ながら生きていけば、いつの日かこの「無」の意味が本当に分かると思います。この分からないところがよいですよ。一生、分からなければますますよろしい。簡単に分かれば、あんまり意味ないです。

【参加者】

これは先生がつくられたのですか。

【水源師】

いやいや、これはたぶんね、お釈迦様の言葉だと思います。だから、霊鷲山通度寺（韓国）で書き留めた言葉だから。霊鷲山と言えば「正法を守る寺」、「本当の教えを守る寺」ということで、やっぱりそういう寺はすごいそういうものを持っていますから。やあこれはいいや、と思って、かすめ取ってきました（笑）。まあそういうことでどうでしょうか。今日はあまりまた奇想天外なことをパラパラパラパラと言うと、頭がクラクラクラっとして（笑）。眠れなくなるし。最後はまあゆったりと普通のお話で、あとは質問に答えていこうと思いますけど。

質疑応答

【参加者】

じゃあ一ついいですか？ 今聞いてもしょうがないんですけど。

【水源師】

いいですよ。

【参加者】

パオの卒業について。パオを卒業したということが、その預流果¹になったという…。

【水源師】

ことではありません。そこのところが…。あの預流果に正式になったと認められるのは、あの最終的には空を分かなければならないのです。だから、最終のヴィパッサナー（観）はこれくらいの分量の教科です。最後の最後の行にそのことが書いてあるわけなのですよ。スニャータ（suññatā：空）、やっぱりスニャータというのは、南方でも北伝でも非常に重要なところですよ。これを通過しなければ、次の預流果からサカタガミ（一來果）、サカダガミからアナガミ（不還果）、アラハト（阿羅漢）には行けませんから。

アインシュタインもこの空自体は分かっていたけれども。「一切これを避けて論文を書いていた」ということを私の生徒が言っていました。今でいう「バックグラウンドエナジー」が非常に空と密接な関係がある。そこに突っ込めばもう手のつけようがないからだと思います。だから、わざと避けていたと。ずーっと一生その分野を。空のエリアを。

数学、徳

だから結局ね、東洋の仏教を学者とかで本当にする人は、数学も徹底的に勉強しなきゃ、もうだめじゃないですか。特にバチカンではね、あの牧師さんにする修行に、徹底的に数学を勉強させますからね。あの微積分から。それでロジックをきちっとつくるわけなのです。じゃなきゃ頭がふにゃふにゃふにゃふにゃして、理論ができなくなるから。それで東洋の人が西洋の人と論争するけど、すぐ敗れるでしょう。全然そのふにゃふにゃしたまま、ただそのあとは知識の東洋哲学で「こうだ、ああだ」とは言うかもわからないけれども。核心的にいったらすぐ敗れてしまう。

論法ではね。数学を勉強した人はすぐ分かるけれども、もう一瞬にして頭でね、もう最後の回答が分かるのですよ。微積分とかね。あとは30分か1時間かけて公式をつくって行って、書いてこうです、となるわけ。だから、それでその討論でもパパーッと最後の回答は分かっているわけですよ。後は何を相手が言っているか。相手は遅いわけなのですよ、そういうこともしなければ。やっぱりその討論となれば、仏教であれ宗教学であれ、そこまでやっていたら、いつも子ども扱いされますよ、西洋から。何も分かっちゃいないと、ではないのだけれども、ただそういう訓練を受けていないから、ただニコニコ笑って帰ってくると（笑）。

¹ 四向四果（預流、一來、不還、阿羅漢）の一つで、人間に最高で7回転生し、やがて阿羅漢果を必ず成就できる最初の悟りの段階。須陀洹果を指す。

ということじゃないですか。

だって、もう 6 歳のときからもう 6 カ国語を勉強させるからね。1 時間ごとに言葉を変えるからね。ジャーマンとかラテン。イタリア語とかスペイン語とか。1 時間ごとに教科を変えるのですよ。徹底的に勉強させているし。ラテン語の授業のときに英語を読むと、バチーッと叩かれるしね。そりゃあすごい教育を 20 年間続けるからね。あの仏教のチベットでも 20 年間、修行させるけれども、まだまだ優しいほうだと思いますよ。かわいがってね、そういうふうになさって。

そのときに数学も徹底的に叩き込むし。だから、そういうふうな強烈なセオリスト（理論家）をつくるから、結局「前世はない」というふうに言うのだけれども。だから、私も「本当に前世はあるのかな」と非常に悩んだけれど、パッと見て確信になりましたからね。それで、完全にもうこれで「西洋の方の **theology**（宗教理論学）はウソだ」という確信を得られるから。そういうふうな方の架空の理論で、このままいったら破滅じゃないですか。

だから今、結局、日本も架空の理論の上に乗って「工業化、文明」なんて言っているけれども、働けば働くほど苦勞するでしょう。働けば働くほど給料が少なくなる（笑）。昔の方がずっとよかった。少し働いて、お酒をいっぱい飲んで、そこらへんの野外でね、ゆっくりして楽しんで、「あーよかった」と。今はその暇もないし。

だから、結局そういうことをしっかりして、皆さんがそういう、まあそこまでいなくても、ある程度そういうものであるということをつらながら、結局、あのコンピューターが出たから、これから素晴らしいと思ったら、今度人員減らしやるしね。人がいらなくなって。どうするの、食べて行かれなくて。まあまあ、やることはちょっと…ひどいね。

つまり、あの「仁徳」「徳」というのは、人と人が交わって光り輝く、その人の心ですね。そういうふうな徳。昔からその東洋は徳。やっぱり人徳ということをつらに大切に、人が二つになる仁。愛のことですね。本当の心。やっぱり仏教も一緒です。だから、それなくして、いくら科学や文明が発展しても、逆に悲惨な世の中になってくると思います。

その一番いい例が最近の福島原発ね。あれはアメリカで使い物にならないものを押し付けられて。それで、あの小さいときに、あの小学校のときに、もう朝から晩まで原発、原発…あのなんて言うのかね。「原発、平和利用、平和利用」。その素晴らしいものだと。きれいだし、ガスは出さないし、いいことづくめばかりで、私も「そうだそうだ、素晴らしいじゃないか」と（笑）。というふうなことを、これは日本国民を完全にだましてるわけですよ。それで、それに反対すれば、「お前に何が分かるか馬鹿」と、落第するし。

というふうなことはやめさせなきゃいけないですね。思想とかそういうことじゃない。その社会主義がいいとかね。どっちもどっちでしょう？私が言うのは、昔の人徳という「徳」ね。聖徳太子の「徳」。本来の日本の、そういう人間らしい社会に戻すべきじゃないかと。こういうふうにお釈迦様がくれた法はタダです。お金では買えません。達磨大師が持ってきた、この素晴らしい法もタダです。一切お金は取りません。パオのパオ・セヤドーが直々に私に「私が書いた本ですから、持って行ってください」と。これもタダです。一切の法というのは金では代えられません。そういうふうな、法というのは世界中どこでもタダです。だから、いくら本をお金を出して買っても、ほとんどそれは偽物です。本物は一切お金を取り

ません。商売と真理は畑違いですから。

不変の法

【参加者】

東洋文化には、いろいろ素晴らしいことがあるというのは分かるのですが、何か西洋文化に見習うべき部分などはありますか。

【水源師】

西洋文化はね、あのルネッサンスのときから今まで、そのときのコプト教（コプト正教会、コプト・カトリックなど）の暴力的な今のイスラームみたいなものなのです。暴力で宗教を押し付けていったわけなのです。それで完全に「前世はない」とか、そういうふうなことを教えられたけれども、西洋の人はどうも違うんじゃないかということで、ルネッサンス文明を起こして、結局あの新しい科学時代、その恩恵を受けているわけですね、知識とか。

そういうふうによつぱり、その数学にはエジプト数学からずーっと伝承して守ってきたこと。東洋には東洋数学はあるのだろうけども、ここまできれいに解明されていない。結局、インドのお釈迦様の残した、その経典の中で究極の公式二つをパーンと残して、それが今、あの私の教えているこの 2500 年後に「無限」のことについて西洋で詳しく解明、初めて論文を出したわけですね。というふうに、西洋にも、こういうふうに緻密に解析する素晴らしさがあります。また東洋は東洋で、あの心を発達させていて、この「法」を持っていると。

だから、私のこの生徒はもう本当に私に会うのが楽しみだ、アメリカに来たらちゃんと部屋を用意しておきますと（笑）。というふうに、やっぱり真理を求める者はそんなものなのです。それで、私に会ったことによって救われたと。あなただけが本当に私を理解してくれると。なぜかといったら、二年前に「あなたの研究は続けなさい。この世であなたのやっていることはとても大切なことです」と。そして今、論文出したら、すぐペンシルベニア大学からすぐ招待されて、教授の席を与えられて、今、新しい数学の分野に取り組んでいます。

だから、この人は空ということがおぼろげながら分かるわけなんです、そういう世界、数学的に。それで、実際に目の当たりにして、私の言葉によって、感激したわけなんです。見えないけれども、壁を通して分かるわけ。それから、実際にそういう世界が存在している、ということ。想像のものじゃないと。

なぜびっくりしたかということ、私が空の本質について解説したわけなのです。ユダヤ教というのは、あのキリスト教のバチカンでも見られない、この人達だけが見られる極意書、奥義があるわけなのです。その極意書の中の奥義を私が指摘して、それでショックを受けてしまった。そういうことで、もう完全にもう信頼してしまった。というのは結局、法はどこでも変わらない。まあショックですね、またこの話をしたら（笑）。だからそういうふうに西洋の方もね、空をある程度、理解しているから、ただそれを体験できるのどうか。これが彼らの課題。というのは数学的な解析ばかりやっているから。そこには到達できないです。

空とユダヤ教

【参加者】

先生がそのときに説明された空の奥義というのは？

【水源師】

空の奥義というのは「空にはこういうタイプの空があるけれども、最後のそれ以上は人間では分かりません」と言ったら、「まったくそのとおりに書かれています」と。そういうことです。初めて人間の口から、そういうことを言われて、とても驚いておりました。経典だけにしか残っていないことを私は読んでもいないけれども、そう説明したら。「同じこと書いています」ということで、びっくりしていました。

これもまた余談になるけど。ミャンマーで私がスイスイと回答したからね。私の先生が、おまえ全経典を読んでいるのだろって（笑）。あのピタピタ同じことを何回も、次から次へとすべて言うてしまうから。おまえは確かに絶対に読んでいるはずだと。まあ、実は真理は変わらないですよ。見たとおりのことをただ報告している。

【参加者】

人間では分からない、ということが書いてある…。

【水源師】

結局は涅槃の世界。

【参加者】

でも、「人間では分からない」ということが分かる、ということですよ。

【水源師】

はい、そうです。

【参加者】

でも、見えないけどなんか…。

【水源師】

その「空」自体も、実は彼らは分からない。一体…。素晴らしい経典に書かれているけど分からないわけ。だから、あのユダヤ教の教会すべて瞑想センターなのです。瞑想する人は今一人もいない。だから、「(水源)先生のところに来て瞑想できるのが、もう最高の幸せです」と。ということは、もう宗教の壁はもうないですよ。

【司会者】

そのユダヤ教も昔の教会が瞑想センターであったという…。

【水源師】

今もそうですけれども、する人がいないから。

【司会者】

キリスト教も例えば中東とかに残っている、昔の古い形のキリスト教ですね。そこをエジプトのシナイ半島にある修道院に 1 回行ったことがあるのですけれども、そこもなんか非常に瞑想的な雰囲気があるところだったのです。キリスト教も昔は瞑想的なことをやっていたのではないのですか。

【水源師】

そうだと思います。あのバチカンで今、一番力があるのが、スペインのイエズス教ですか。

【司会者】

イエズス会かな。あの宗派を作った人はイグナチオ・デ・ロヨラという方で、今から 600 年前かな、400 年？

イエス・キリストとチベット

【水源師】

うん。彼はギャンブルはやるし、女は好きだし、戦争するしで、あるとき、この世はおかしいということで、毎日その水を一杯、谷から、なんかマリア様か誰かに捧げていったらしい。それで、そのときにハッと気がついたらしい、何かに。

それで、そこから始まって、今はやっぱり最も勢力のある、あの宗派で何をやるかと言ったらね、15 分しか眠らせないわけ。45 分修行したら 15 分休み。また、チリンチリンと鐘を鳴らして、また瞑想。徹底的に瞑想、瞑想ばかり。その瞑想は坐禅じゃなく椅子にすわるかなんか。そういう方法。心を進化させるわけですね。

イエス・キリストは、実はあのカシミヤ（カシミール：インド・パキスタン・中国国境付近山岳地帯）で修行したという 1000 年前のイスラムの王様の書籍に書かれた、イスラムの文献が手に入って読んでみたんですよ。いや～まさかと、あのラダック（インド）ね。シャンカールゴンパ（Shakar Gompa）とかずーっと回ってきたけれども、やっぱりその修行した場所に行ったら、これぞあのプリンス・オブ・ピース（平和の君：イエス・キリストのこと）と。それで、実は彼がここに眠っていると言われるところに、なんというか奇跡的に入れてくれるわけですよ。普通は入れないのだけど。それで、その前ですーっと瞑想したらなるほど、平和そのものと。

彼はなんか 20 年間、シャンカールゴンパ、チベット仏教で瞑想をちゃんとして、全インドを回ってしましてね。それに比丘になった、その名前が残っていて、それで John Paul II（ヨ

ハネ・パウロ二世) のときに、ダライ・ラマさんがその経典を持って行って、実は「あなたのキリスト様はここで、勉強した名前はこうですよ」という経典を送っているわけなのですよね。そのときの名前は、あの「イッシャー」(Yhoshua) とかいう名前を使って。だから、あのキリスト様は、必ずチベットみたいに、私みたいな赤い衣、(今、私が着ている) これ。これはちょっと茶色でしょ、赤い衣を必ずかけています。私は比丘であるという。だから、なぜ赤い衣をかけているか分からないでしょ。必ずこういうのをかけている絵があります。このことなのです。実はあのお坊さんなのです。

もちろんチベットだから、なんていうか、マリア・マグダレナ (Maria Magdalena)。女性がいつもそばに付いていて。それで Saint Peter (使徒ペテロ) とケンカしてね、外されてしまったようです、今のバチカンが、その男性だけ牧師ということなのです。

というのは結局、いつもマリア・マグダレナがキリストの部屋に直接入って行って、お世話していたからね。結局、チベット仏教は女性は問題にならないから、比丘でも。だから、そういうことですよ。やっぱりあちは男性社会だから女性が嫌いで。まあそういう、いろんないきさつがあります。裏話が。まあこういう話は西洋の方では薄々、話していますけれども、日本では、知られていますか。

【司会者】

日本ではあまり知られていないですけど、スリランカのあるところで、そんな話を聞いたことがありますね。

【水源師】

ああ、そうですか。だから、私がツイン・ブラザーのセント・トーマス (使徒トマス) のクリプト (crypt)、お墓ね、(ちゃんとマザー・テレサもクリプトと言って、埋めないですよ、ちゃんと石に棺桶を置いて) チェナイの教会 (インド) いまだにあります。キリストが処刑されて、セント・トーマスがインドに行って、ビショップ (司教) になったけれども、その前で瞑想をしたら、すぐ分かりました。

ということで、結局、本を読んでも、ただ読まないで、追跡しなさいと。これが本当かどうか、自分の目で確かめなさい、ということの実践ですね。まあ私は時間があったからね。普通は難しいと思うけど。また偶然そういう経典が手に入って。それでいろんな経典も読ませていただいて、キリスト教の方も二つこう勉強する、ということは対照的にね、比較研究できるからいいですよ。

【司会者】

キリストの時代というのは、紀元 1 年とかそのぐらいですよ。

【水源師】

いや、彼が生まれた日がね、BC6 とかね、紀元前 6 年とか、その日の誕生日は違う、あの星の動きとか、いろんな論争があります。

【司会者】

まあそのへんだと思いますけど、チベット仏教って、もうちょっと遅くじゃなかったでしたっけ。チベット仏教が盛んだったというのは。

【水源師】

実はチベットの人が言うには、お釈迦様が生きている当時、「チベットのその高官 (minister) に、お釈迦様は直接教えた」と。そういう文献があります。だから、もう同時にそのお釈迦様が生きていたときには、もうチベットの人が特別な教えを受けていましたと。

ネパールに行ったら、ナモ (南無、帰命) ブッダ (仏陀) というところがあるでしょう。あそこは全部チベット仏教で守っていますね。そこにはお釈迦様が唱導 (仏教教理を説いて人を信仰に導く) したときに、1200 の比丘・比丘尼を連れて、お参りに来たわけですよ。そこのお墓はお釈迦様が今から 6000 年前に最後の命を落としたところですね、この地上で。第三の王子で自分の身を虎に捧げたわけですよ。そのときの五匹の虎が弟子になったということで、天上界に上がってまた降りてきて、最後の唱導をしたわけ。そういうふうの説明を受けました。

なぜナモ・ブッダというか。その自分の前世の骨がそこに埋まっているわけです。確かに天国に転生したけれども、お釈迦様が自分の骨にお参りに行ったということは、結局お母さんがもう気がおかしくなったみたい、その大地の所で。お母さんの供養と思います。自分のかわいがる第三王子がね、命を投げて虎に与えたと。だから、それは父母 (からもらった命) を尊敬するために、1200 の比丘・比丘尼を連れていったということだと思います。

だから、そういうことで供養とか、東洋の供養は意味がないとか (言いますけど)。そうでもないみたいです。尊敬するという。またそこで、また論争になるのだけれども (笑)、いろいろ。でも、だからカトマンズには、ミャンマーからたくさんお坊さんが来たり、それでいろいろあちこち周っていましたよ。まあ、奇想天外な話ばかりだけれども。実際そういうことがあったのですよ。

ゾロアスター教とシリウスの話

【司会者】

昨日と一昨日の話で、火に関するお話がありましたね。護摩のあれです。それがまあいろんなゾロアスターだとかとの関連のお話されたのですけれども。その火とそれからもう一つ太陽ってありますよね。太陽。これと火とは非常に深い関係がありますか。

【水源師】

や、あのね。アシュラ・マズダー (ゾロアスター教の太陽神) というのですね。

【司会者】

アシュラ・マズダー。

【水源師】

(車の) マツダ (MAZDA) のマズダです。アシュラ・マズダーというのが正式な名前です。

【司会者】

ゾロアスター教の。

【水源師】

はい。この経典を読めば、今から 13000 年前、彼らは北極に住んでいたと。すべての体型は 16 歳くらいの素晴らしい体型で金髪で、そのとき神のお告げがあつて降りてきたと。今から 7800 年前に、あのリピーター (繰り返し) で、ちょうどキリスト様みたいな話、ストーリーがあるわけ。まるでそういう話があるわけです。

今現在でも西洋の法の学説では、最低 3 人から 6 人くらいのキリスト様みたいな、その当時、生きていたと。どれが本物かという。これは学者の論争だから、またあんまりとらわれると、教会から怒られるけれども。

ただ 7、800 年前の、その文献を読ませていただいたときに、その地球文明は突然 5000 年前に起こったものじゃないと。特にグリーンランド。3000m の氷があるでしょう。なぜあそこに、3000m の氷があるか、そのことが経典には書かれています。宇宙的なつながりです。そういうことがあるわけないと思ったけれども、あのマイナス 253 という、非常にあの超低温のエネルギーを出す星があるわけですよ。その風が吹き付けて、そういう事態が起こったみたいで、そのとき。そういうことが書かれてあるわけですよ。

それも 10 数年前にその星が発見されて、まあ天体で。星というのは熱いでしょう。まさかマイナス 253 という超低温のエネルギーを出す星なんて想像もしなかったけど、実際、発見されたわけ。また、1853 年にフランスの人類学者が、今のマリという国のドゴンという伝説を書き残しているわけです。

それがね、私たちは Sirius 星のナンバー・スリーの星から来たというわけです。ところが、1853 年は、日本ではサイラスはシリウスですね。1930 年代にパロマ天文台でナンバー・ツー、シリウス・ツーが発見されたわけ。ところが、シリウス・スリーは発見されていないわけ。だから、まあおとぎ話。ところが、ハッブル・telescope でそれを見たときに、ナンバー・スリーが発見された。

それでもう驚愕したわけだ、世界が。それが 20 万年前にあのスーパー・ノヴァが発生するときに、そこから逃げて地球上に来たというんですね。その文献に近い書籍をハッブル・telescope が打ち上げられた 20 年前に読んだときに、誰がこんな空想科学小説な眉唾物を書いているのかな、と思いましたが、ナンバー・スリーが発見されたことで、地球外生命体のことを釈迦様お話ししている経典は本当のことではないか、と思いました。

仏教とサイエンス・フィクション (SF)

お釈迦様の話はそれ以上ですよ。こんなもんじゃないですよ (笑)。だから、いかに私たちはね、常識、常識という。ちっちゃい目で、がんじがらめで、結局、毎日電車に乗って箱に詰められて、そりゃおかしくなりますよ。

だから、韓国の伝説では最初の天皇が伽耶山という山に宇宙船で降りてきたと。中国でも、山東省のなんとかという村に天から最初の天皇が降りてきたと。それが 20 万年前に爆発してきてきたアフリカでの話と、天から降りてきた話が繋がっていることに驚きですね。これがまた嘘か真か、かぐや姫みたいな女の子が乗っている巨大な数キロメートルの太古の宇宙船が月にあるわけなのです。そしたら東洋人の顔ですよ。だから、まあ実態を見ればね、それが本当か嘘かは分かりませんが。

でも、あの日本の月の衛星かぐや姫という、衛星写真を見たらびっくりしたのはね、隠していない、あったのですよ、都市が、建物が (笑)。後で消したけどね、だから常識、常識というのは結局ね、400 年前ガリレオ・ガリレイが、地球は太陽の周りを周っていると、殺されそうになったでしょう。ケプラーはそれをちゃんとデータとして、その本は、私は殺されるのは嫌だから、死んだあと発表してくれと。

プラネット・エイプ (猿の惑星) という映画を見たことがあるかもしれませんが。なんかよく似ていますよ (笑)、今、私たちのやっていることは。だから、私はサイエンス・フィクションがとても好きでね。この想像はね、意外と真実を見せるのですよ。メトロポリスという 1930 年代に作られた映画があるんです。無声映画。

あれ見たら、なんとまあ、まさにその現実が今起こっているという感じ。まさに今それが起こっている。結局、その当時は徹底的に想像で書いているのだけれども、意外と未来を描写してしまう。それで、私がありとあらゆるサイエンス・フィクションの本を読んだのです。読める環境にあって。まあ、お父さんお母さんに小遣いせびって (笑)。読み尽くしたわけなのです。そしたらね、大体パターンが決まってね、これ以上の枠から出ていないんですね。

そのあとね、『法華経』を読んだら、お釈迦様の言われることは、このサイエンス・フィクションのこのパターンからもう、何キロ離れているくらい想像を絶する高さです。お釈迦様の『法華経』に比べると、サイエンス・フィクションはおもちゃみたいなことを言っている。その想像の違いを比較したらサイエンス・フィクションが () に近い。それだけ違う。そこで分かったことは、人間の普通の限界の頭はどんなに考えても、これ以上のパターンから出られないということ。ところが、なんとお釈迦様はワーツと何百メートルか、もうウワーツと思うくらい、人間の普通の限界の頭はちょうど幼稚園かくらいの頭脳しか見えないのかと思いました。その『法華経』を読んでみたら。その心の規模がとてつもなく違う、ということですね。

これからの日本

【参加者】

そうすると、今の日本というのは、仏法なんていうのは本当、仏法を学ぶなんていうのは異端に近いかもしれないじゃないですか。

【水源師】

そうですか。

【参加者】

と思いますよ。

【水源師】

いやまあ、そういうふうにな、結局（今の日本人を）無神論者にしたわけなのですよ。

【参加者】

その社会常識とか、そういうものにとらわれて、まあ、「箱」に、電車に乗って通勤している人が多いわけですよ。

【水源師】

はい。

【参加者】

先生は過去世も観えるし、来世も観えるし。今のこれ、本当のことを言うと、これからの日本はどうなるのですか。

【水源師】

やっぱりあの、なんていったかな。太母（たも）さん、浄土真宗で得度した偉い尼さんがおってね。この方はもう日本の政治家に一生懸命「もう破壊するから、やめろ、やめろ」と言っているらしいけれども。「ワカッテルけど、やめられない」と言われてしまう（笑）。この方が言うのは「このまま行ったら破滅です」と。

破滅するよって。こうだからと。まあ説法もするし。なんか偉い尼さんがいて。それで、その政治家たちは、今もドンチャン騒ぎしているみたいだけど、「ワカッテルけど、やめられない」と言う歌で合唱（笑）。国民がどうなろうと関係ない。もうやっぱりあのお尻を叩いて、「国民の方に目を向けてくれ」と言うしかないのではないですか。

太母さんが言っていたのは、今から20年か30年前かな。それからずっと続けているんだもの。「分かっているけど、やめられません」と（笑）。そういうことです。みんな分かっているの。分かっても、「まあ、何とか…いいじゃないかの合唱？」とか、「地震は起こらないよ」とか、「原発は爆発しない」とか（笑）。まあそういう「明日も大丈夫!!!」と。ところが、ポーンッとなったわけでしょう？

本当の真理を知ること

だから、2029年には、あ、昨日もお話したかな。一つの隕石がね。その軌道が地球にぶち当たる軌道にあるわけですよ。1年か2年前にニアミスで、ほとんど髪の毛一重の違いで。次は必ず当たると。だから、タイの未来を予言する神通力を持った人が、結局、タイが2030年沈没。カリフォルニアは200mの津波を起こす。隕石だけが200m、1000m、2000mの津波を起こします。それが結局、あの昨日もお話したように、その痕跡がロッキー山脈2000mに、結局累々と骨があるみたいだけれども。分かっているてもやめられない(笑)。

【参加者】

日本はその前に潰れちゃうのですか。

【水源師】

いやー、太母(たも)さんが言うには「破滅だ」と。まあ、日本円が77円、76円。いつご破算に願ひまして、という状態だよ？ だって、全世界の財産、その借金を日本で立て替えているような感じだからね。もう数学的に、数学的にね。

【参加者】

まあでも、「いつ日本が潰れてもいいように、一日一日生きなきゃいけない」ということですね。

【水源師】

そう、ですよ!!! 私が今ここで原爆を落とされても、あーさようなら。これで私の任務もおしまいと。すぐ転生しちゃうからね。だから、パスカルが言ったらしいですよ。印幻先生が教えてくれたけど。パスカルは「今、私が本当の真理を知ることができたら、たとえこの地球が爆発消滅で今、死んでも憂いはない」と。このことですよ。だから、「一日一日、法をしっかりと学んでください」と。「しっかりと」というのは、疲れるときは寝てください。ただ、心はそっちの方に向けて。お釈迦様の教えは本当に正しいことを言っていると。本がいっぱいあるけど、その中でどれが本当かということも簡潔にこう書いていますからね。これを指針にして、これは偉大な、その高僧が残してくれた言葉だから。私も納得するし、ここには無量の回答があります。

ニミッタ(丹光、禪相)で追跡するのもいいしね。それでまあ、ヴェーダナー(受随観)で体を治すのもいいし。まあまあ、私たちは救われていますよ。本当に! 救われている。普通の人(書物を指して)これに出会えないのだから。明日もないのだから。惨澹たるもの。「天国はある」と。「皆、死ねば天国」という望みはあるけれども(笑)。本当に行けるかどうか、その「鍵」は願えば叶う、本当にそうであれば、この地球はすぐに天国になりますね?

あなた方は今ここで本当の「鍵」をもらっているのですよ、今。キリスト教の世界でもね、「行けるかもしれません」と。「保証、絶対に行ける」とは言いません。ところが、あなたた

ちは、その鍵をもらっているのだから。人間に生まれるのも非常に難しいのに、天界に生まれるというのは、ますます難しいですよ。それが簡単に行ける道、もう皆さんその目の前に来ているんだから。天界に生まれるにはジャーナ（禪定）ですよ。ジャーナに入ってしまったらブラフマン（梵天）の世界に行ってしまうから。色の世界（色界）に行くからね。欲界の天界に行くには、もうあなたたちは直前まで来ているんだから。これはね、地球の重さの金でも買えないです。

ほとんどの方はね、真理ではない世界で生きているから、残念ながら地獄に行く道に通じるところで、人生を歩んでいるみたいです。私が最初の法話会で、ある方に「あなた観たでしょう」と。「地獄に雨のように人々が降っていくでしょう」と。「はい、観ました」と。こういうことを言ったら、みんな怖がりますが。ただ怖がらないで、すぐ瞑想してこうやれば、すぐに大丈夫なのに、しないのです。

だから、バチカンでもね、John Paul II（ヨハネ・パウロ二世）が「地獄が大きく口を開けて、みんなを飲み込むように待っているよ、皆さん、心を入れ替えなさい」なんて言っているけど。皆同じことを言っている。本当にそれが現実なわけですよ。この川が流れていてドーッと落ちるから、「その川から抜けなさい」と言っているわけ。それも簡単、ただ岸に行けばいいだけなのだけど、皆が川で遊んでいるから、私も遊んでいくという。たった、こんな短い人生の時間でダーッと川辺で遊んで流されるところにいるわけです。

地獄は存在する

「ないないない」と。「大丈夫、みんな天国！」と（笑）。それで、私もそうあってほしいよ。本当に天国もあるのですよ。また、地獄もあります。地獄にいったん落ちたら、なかなか出られませんよ。地獄に落ちて、そこで修行するなんて普通の人はできないから。

だから、「そこへ行くのはやめなさい」と。お釈迦様も言うし、私も同感です。ただただここに地蔵様を飾って「皆様をなんとかお助けください」と言っているのだけれども（苦笑）。これが慈悲ですね。行ったからバイバイじゃなく。やっぱり、皆さんのために地蔵様へお願い申して、「皆様をお助けくださいませ」と。

だから、この話したことあるでしょう？（パオで）私を助けてくれた比丘が、行（ぎょう）が非常に速く進む方で、結局4回比丘をやって。今、最後、完成して、その7代前は地獄だったと。その一劫。一劫と言ったら想像を絶する時間帯。毎日火あぶり。熱い、熱いだけ思い出す。

「お前よく出てきたね」

「うん」

「どうして出きたの？ どういう方法で出てこられたの？」

「実は、カッサパブツダ（迦葉仏）にダーナ（布施）してね、その功德によって出てこられました」

と、それも一劫です！

生まれた後は、生まれてきたときは、ホームレスと一緒に。片足がなくて、ほとんど路上で

住んで。それでもうビタ 1 銭も盗まなくて、間違いを起こさなかった。その功德によって、今度、女性に生まれて、一生懸命お供えものしたおかげで比丘になったと。それで、4 代続けて今やっと完成して、次はもう弥勒菩薩の第四天（兜率天）に上がると。

これは現実の話なので架空じゃないですよ。今さっき話したように、私の旅、説明したでしょう？ 奇想天外でしょう？ そんなものじゃないのですよ、この大宇宙は。本当にそんなちっぽけなものじゃないのです。

私の言っていることも、本当に塵くらのことしか言っていない、現実としては。だから、どれだけ皆さんがブラックホールのちっちゃい中に閉じ込められているか。だから、私が思ったときに、一体皆さんこのブラックホールの、この鉄のちっちゃい球からどうして抜け出せるかと。

あまりにも、その常識、常識というもので、歴史を調べてみたら、みんなつくり上げた嘘じゃないですか。言っていますよ、今はサイエンス・マジックと。実際はそうじゃないのに、科学、科学と言ってね。はっと（高い声を）出したら、ガラスがパッと割れる（のがある）でしょう？ あれ、歌手が割っているわけじゃないのですよ。歌手がハッと言ったときに、そこにね、その周波数を出す大きなスピーカーを置いて割っているわけなのですよ。まさに人間の声で割れたという（笑）。そういうことばかりやっている。

まあそういうこと、一例になってテレビで見ちゃう、そうじゃないかと思うでしょう？ところが、私は通信の関係（の仕事）をしていたもので、ほとんどの情報は伝わっていません。よくて半分。私もよく学生時代高校で、（レポートなんかを）書くけれども、まあさもありなんの作り上げが半分ですね。じゃなきゃ読んでくれないから。

だから結局、皆さんがこうして本当の法に今、触れていますから、本当の正道に。ただこれをしていけばいいというだけです。つまり「自分」「自分しかない」と。この「自分」とは何か。だから、これをよく研究しながら、ずーっと一生かかるかもしれませんが、この道しるべ、必ずや次の来世によい結果をもたらします。

【司会者】

こうなんか、しん、としちゃって（笑）。

2012 年に閉じた扉

【参加者】

今年の 2012 年はターニング・ポイントみたいなことを言われていたと思うのですけれども。

【水源師】

はい。

【参加者】

先生から見られて、今はどういうことが進行していますか。

【水源師】

もうほとんど、あの（2012年）5月21日のあの時間帯が最後のドアがオープンで。6月7日だったかな。そのときにクローズしました。だから、それまでに精神界を勉強した人は、なんとか持ちこたえていたけれども、やっている人でも、なんかおかしいって。

なんかその後ね、トロントの街中がね、なんかその満月になったら人がワーッと歩くような。本当になんかルナティック（精神に異常をきたしているさま：語源は「月に影響された」）というか。そういう現象を起こしてね。何も無いのに、なんかウワーッと車を乗りまわして。

それで、その後なんか、トロントで最初、打ち合いでバンバンバンとして人を殺したりする事件が発生。その後、なんかアメリカでバンバンバンとやって。バンバンバンがずっと続いている。なんか皆が言っていた、「おかしいおかしい」って。何だかおかしいと、心が。

そういうこと。だから、それまでに坐禅とか精神の修業をしている人は、その後ずっと落ち着いたけれども、修行していない方々はそわそわしていますよ。そのことです。だから、今この船に乗り遅れないようにと言ったでしょ。この2年間で勝負ですと。それから2021年になれば、あのすごいエナジーが来て、これにまた太陽のフレアが来てね。そのフレアに地球が直撃されたら、焼き尽くすか、または、配電線が全部ゼロになる、ダメになる、と言うのですよ。

この配電線のスイッチというのはね、この送電線のスイッチあるでしょう？これは大体、1億2億円、時には10億円というお金が必要なのです。それも何千個の配電線のスイッチということが、工場でそういうものはすぐに作れないし、何年もかかるわけなのです。ということは、水道が北米では何年も止まる、ということ。ほとんど機能しなくなる、という。もしそれが発生すれば、ということです。

そういうこととか、いろんなことが重なって、ちょうど太陽のフレアがそういう状態と、それから地球の磁場がものすごく薄いのですよ。この地球の磁場がね、今ちょうど南北回転する時代になっているわけなんです。それで太陽もね、南極北極があって、それは突然、今つい最近、四つの極を持つようになったのですよ。横にも。異常事態が発生しているわけなのです。

だから、こんな脅かしばかり言ったら大変でしょう。それよりも「知らずにただ瞑想してください」と（笑）。

【水源師】

「大丈夫ですから」ということを私が言っているわけなのです。だから、それだけ情報が隠されているのだけれども、結局、日本の文化が壁を作って知らせないようにしているのですよ。私が日本映画とアメリカ映画を見た場合には、日本映画が大体、正確に訳されて60%。50%しか訳されていない。またアメリカ映画が日本に訳されたときも、せいぜい行って70%。じゃなきゃほとんど60%か以下。だから、あと35~40%、missing（欠落）している、information（情報）が。正確に伝えられていない、という現実ですよ。

宇宙の法は万人に平等

【参加者】

ドアが閉まるっていうのは、今年の5月までが…。

【水源師】

そのときから、女性エネルギーの方に転換したわけだ、今までの男性エネルギーから **female energy** (女性エネルギー) の方に、だから、すべてが変わっていくみたいですよ。これからの思想体系から。結局ね、私たち人間はね、宇宙も変えられると思っているけれども、そうではないのですよ。冬を夏に変えられるという、おごりがあるけど、そうじゃない。冬は冬、来ます。夏は夏、来てね。

そういうテクノロジーがあったら東京はね、いつも 25 度です (笑)。それで、テキサスなんかはもう空前の暑さで、あの 50 度近くて、全部農作物が全滅。10 年前までは、私たちは雨を降らせるテクノロジーもあるし、雲も作るしなんて言って、うまいこと言って現実は何もできないわけ、ただ。1回2回やれば全部できるようなことを…。だから、まあそういう非常に、その太母 (たも) さんが予言したとおりになっているのだけれども

では、どうして生きていったらよいのですか、未来はない？未来はありますよ！こういう法を一つ持てばもう。あのスーパータイムトラベラーで宇宙のどこへでも行けるからね。何の悔いもなし。ただ持っていない人はね。何千億、何兆円あったって、せいぜいたかだか 10 年 5 年か、1 年か 2 年。言ったでしょう？ 昨日も。98 歳のおじいちゃんが 3000 億のお金を持って 28 歳のストリッパーと結婚して、最後の余生、1 年後に死んじゃったけど。天国にはまず行っていないね。信じる、信じないは別として。

まあそういうところです。だから、どんなにお金があったって、役に立たないのですよ。あなたの心だけでつかむしかないわけですよ。だから「万人に平等なのです、宇宙の真法は」。「差別なし」。だから、生まれがどうであろうが、その不幸であろうが、そんなもの問題じゃないわけですよ。この日本全国あなたに与えたってね、それであなたが天国には行けません。

そういうことを結局、武帝がやったわけですよ。比丘・比丘尼を 30 万人養って、お寺も数限りなく造ったから、「私にはどういう高德があるでしょう」と言ったら、達磨大師が「いや、ザルに水を注ぐことだ」って言ったら、怒っちゃってね。いや、「あなたは天国に生まれますよ」ということを言ってもらいたかったわけですよ。そういうことはウソつけないからね。

そういうことは、「逆に地獄に墮ちるみたいなものでしょう」と言ったら、ますます (笑)。まあ、ザルに水を落とすようなものだと (笑)。だから「万人に平等」。皇帝であろうが、ホームレスであろうが、その不遇者であろうが、「人間として生まれて大法に触れるということは万人に平等」、これほど素晴らしいことはないじゃないですか。

それもね、作り上げた法じゃないのですよ、私が検証した限り。聖書もね、アンオーソライズド・バイブルと言って、いっぱいあるのです。その最もスタンダードなのは、**King James Version** の 400 年前に作られたのが聖書なのです。400 年前。その前もいっぱいあります。

奇想天外（なのは）、全部没。

だから、それを持って西洋文化で言われて、「ああ、何か素晴らしい」と。あの「妄想」に駆られないでください。ただ私が言うのは「自分自身で検証してください」と。いつも先生から回答はなんですか、虎の巻をもらっても、なんの意味もありません。虎の巻を見て、100満点回答してね、本当に理解しての回答でなければ、東京大学に入っても、人生の幻と思います。まあ東京大学の方は偉い方ばかりだけれどもね。それで100点満点で卒業したけれども、福島原発を見たら、回答ゼロでしょう。じゃあ何のために、今まで100年150年、そういう英才を育てて。実際には国民を助けてくれないじゃないですか。

ただ一人、正確な回答をしたのは、あのなんていったかな、加来さん（ミチオ・カク：加来道雄）、ハワイアン系の日本人です。アメリカ、ハワイ生まれ。プロフェッサー、KAKU、あのニューヨーク大学の物理学者で、彼だけが正確に回答したのです。どういうふうな解決法があるか。この方はハーバード大学、物理学での教授クラスの力を持っているから。この方の話は番外で、誰もこの方の話を聴かない（笑）。

アメリカの偉いところはね、そういう人を見てき、「水爆の父」と言われる人だったかな、彼がわざわざハワイへ行って、おまえの席はハーバード大学にちゃんと用意してあると。もう高校くらいから、それくらいのことをしているわけ。実証しているわけ、とてつもないことを高校生のおきに実験しているわけです。アメリカというのはそういうところですよ。そういう天才がいたらすぐ上で見ていてね。おまえの席はハーバード大学にあるよ、行きなさいと。自分が申し込まなくてもあるわけ（笑）。国の宝だから。試験勉強なんかさせない、お金も出す。はい、行きなさい。それでおしまい。ま、（アメリカは）そういうところですね。

だから、何もそれには偉いとか低いとかはないんですよ。そういう、いいものはどんどん育てて。皆さんのために役立つと。ところが、「よい者を潰し、悪い者を助ける」と。これはやめた方がいいと思います、こういう文化は。

だから、正しい道をみんなで歩めば、その国は救われます。それが、国が間違った方向に進めば、どんなに一生懸命やっても、「人民のためだ、社会のためだ、皆、一生懸命働いて、素晴らしい社会主義天国を作ろう」と、「私たちは幸せだ」と言っても、また「民衆主義天国だ」と言っても。人々が苦しむ社会であれば、これはとても恐ろしい社会です。ま、宗教もそういうところがあるかもわからないです。

宗教の大切さ

【参加者】

スターリン国家には宗教はないのですか。

【水源師】

ないない。

【参加者】

何もない？

【水源師】

宗教やったらバツサリ（笑）。今、中国でもやっぱり「高校の先生とか、先生方がお寺詣りに行ったら、変な目でみられて忠告を受ける」と言っていました。それで「やっぱり宗教というのは大切だなあ」と。つまりそれがね、悪いことすればお咎（とが）め、なんか天罰を受けるとか、そういう重しがあるけど。そういうものがゼロなものだから。なんか汚職がものすごく流行ってね。それに「来世もない」と。「一代限りだ」と。だから今、全部中国の幹部は、子供たちを全部海外留学させて、なんか何千億という金を持っているらしいですよ。

だから、田中首相なんか3億で、かわいい、かわいいもんです。まあ小沢さんはなんか書類書き換えただけで、何とか言われて、本人は違うと言っているけれども。

だから、そこでやっぱりアメリカはまだ宗教があるでしょう。まあ悪いことしても、ウォールストリートの1000億、2000億、ボーナスとか。中国ではもう大将だからね。これが大問題になっているみたいですね。このことを今から十数年前に予告して、「中国の最大の問題は汚職ですよ」って、「これからその解決をしなければ大変なことになります」と。まあ一生懸命やっているけれども。3年かくらい前に、10万人かの党員をクビにしたみたいよ。銀行員から何から。それでも止まらないのだから。

たしか5年か7年前に、あの国会議員のNo.2、総裁ね、銃殺刑にしたけれど、それでも止まらない。だから、人間はね、「お金儲ける」と言ったら千里の道も走るけれども（笑）。「人のためにしろ」と言ったら、腰も動かさずにシャットアウト（笑）。というふうに、人間の欲というのは限りない（という）現実。だから、当然、雨のごとく地獄に落ちていくという、現実。

だって、こういうことも勉強しないし、「神も仏もなし」「神仏なし」と。そういう、ただお参りに行くのは、「どうか私に1億円、宝くじ当ててください」とか（笑）。「すべて円満で災難なし」とか。人はどうしても自分にいいことだけをお願いし続けたら、神様だって嫌気をさすかもしれませんね…。

【司会者】

今の中国はどうですか。仏教が、また盛んになる可能性というのは…。

【水源師】

それしかないでしょ。私はそう忠告しておいたけれど。仏教というのは、中国で発展させたものであるし、儒教もそうだけれども。精神的なものがなければ、大変なことになりますよという。ある大学の先生が言いました。「私は一生懸命レポートするのだけれども、政府は聞いてくれません」と。「それでも私は書き続けます」と。

中国は共産党だけじゃないのですよ、その下に四つの星があるでしょう。四つの党で、五

つ党があるわけなんですよ。でも、最終的には共産党に従わなきゃいけない、という法律があるけれども。だから、1年に1回、党どうしの談義をするそうです、五つの党で。だから一つだけだったらもう爆発しているけれども、共産党の方でもお金出して、なんとかその安定化させようとしているみたいだけれども。まあ、中国の若者は怒っていましたよ。「政府だけが金持ちで、私たちは一生貧乏だ」と。

なんと彼は、5千万円のマンションを持っているけれども、それでも「貧乏だ」と言う。なぜかといったらね、1億円するのですよ。100㎡のマンションが1億円。日本以上ですよ。だから、それは中国の問題で、だから結局、日本で昔バブルあったでしょう？ それで金がダァーッと。今、中国がそうだから。大変ですよ。どこもかしこも（笑）。日本は日本で大変。あつちはあつちで金があつて大変。

一切の衆生のために

【参加者】

中国も今の国土を維持できないですよ。

【水源師】

かもしれません。

【参加者】

いろいろ、独立するのではないですか。

【水源師】

さあそうなったら、今度はユーゴスラビアみたいに内戦を起こして、世界に火が着きます。いいことじゃないです。あれで一つにかたまっているからよいのだけれども。あの皆さん、私が2年前言ったでしょう？ なんであのアウンサンスーチーさん、ミャンマー（ビルマ）、あの人が幽閉されたか。

原因はですね、1950年代に50の部族が殺し合いをやったわけなのです。あれで「デモクラシーだ、なんとかだ」と言ったら、山奥のカレン族なんかもう一発で銃を持って、また戦争を起こします。まあ、実際起こしたでしょう？それで、中国では内モンゴルとあの雲南省と全然文化も違うしね。全く民族が違うんですよ。56の民族なのです。56ですよ。「中国は漢民族が」と言うけれども、7000万人しかいないんですよ。あれでもし、あのデモクラシーやったらリビア以上の災害が起こる。その余波が東洋にやってきます。

だから、戦争はよくないのですよ。人ごとじゃないのです。火の粉が飛べば、どういうことになるか。ロシアからアメリカから、世界で、あの核戦争をやらざるを得ない状況になったら、すべて全滅。非常に密接につながっています。だから、「政治をそういうふうに大きな目で見てください」と、私は言っている。

だから、仏教も全世界のためであって。こんなにお釈迦様が私たちを導いてくれても、ま

だアフリカに行けていない。サウス（北）アメリカにも、やっこの 20 年前、少し始まったばかり。だから皆さんがね、これだけの恩恵を受けていますから、叡智をもっと磨いて、大きな目で、「お釈迦様は一切の衆生のために出て来られた」のですよ。一部の国、一文化のために生まれてきたわけじゃないのです。そこをよく考えてください。その恩恵を、日本の方が非常に受けていますから、こういう素晴らしい文化ね。スリランカの人も呼ぶ、ミャンマーのお坊さんも呼ぶと。だから、非常に大きな任務があるわけですよ。「人類のための法を守り、広める」という意味でね。

私だけが（よければ）いい、となったら、もう仏法じゃない。それはもう国境、時空を超えて、宇宙的なものであるから。よくよく心を大きくして、勉強してください。そういうことです・・・なんかまた大きな話に（笑）。

【水源師】

いや本当に、本当にそうなのですよ。経典も、そういうふうに書かれています。だから、これを指針にして、壁を作らないように。これから無量の時間帯を、どれくらい輪廻転生するか分からないのですよ。それで、絶対的に私は間違いを起こさないという保証は、一つもないです。全く知らないところに生まれた場合は、前世での体験が役に立ちません。「この世で必ず私はここに生まれる」というのは、世界に 100 人か 200 人いるかどうかじゃないですか。というのは、「自分で選んで生まれる」ということのもっておられる方の話です。

だから、心を大きくして、一切のこの人類のためのことを考え、また、衆生というのは、魚動物すべての生き物のことも考えてね。心を大きくして、どれが一番バランスとれた生き方なのだろうという考えが必要だと思います。「中道」というお釈迦様の素晴らしい教えだと思えます。それより…それしかないです。

私たちの生命体の速さはね、光なんて問題にならない。宇宙の端から端まで一瞬にして行ってしまうのです。ちょっと針の先のズレでだって、軌道がパーンと大きくずれて飛んでしまいますよ。だから、間違いなくその軌道をちゃんと指針を持って、行ったら、まあ間違いない。ますます、シーンとしてしまった…（笑）。

【水源師】

現実はそののです。こういう経典に、実はそのことが書かれています。

『EXPLANATION of The UNIVERSE』、このことです。

古代高度文明

【司会者】

前に SF みたいな本かて読んだことがあるのですけれどももう滅びてしまった文明が、実はあるのだと。

【水源師】

うん。

【司会者】

たとえば、まあよく知られている「アトランティス」っていう大陸がね。

【水源師】

はい。

【司会者】

今でいう大西洋の真ん中あたりに、そこらへんにあって、それはまあ 5000 年以上くらい前だったかな。その人たちはまあ二つくらいに分かれて、かなり核技術を発展させたようで、結局その戦争をやってお互いにその核爆弾をこう撃ち合って、そのためにまあ滅びてしまったというか、その沈んでしまった、というようなことを確か書いてあったように思うのです。そういうことを、要するにもう滅びてしまった文明っていうのが、我々の知らないような文明っていうのが、あるのですか。

【水源師】

いっぱいあります。

【司会者】

ありますか。

【水源師】

一つ二つじゃないです。あのエジプトの砂漠にグリーンガラスというのがあります。それを宝石に使って。それはネバダの核爆発実験、地下爆発でできる物と同じ物なのです。核爆発だけによってできるシリコン、ガラス。このガラスはみんなシリコン。これを非常に圧縮したエネルギーをやれば、あるグリーンガラスになるわけなのですよ。それが砂漠に累々といっぱいあるわけなのです。そのガラスは放射能性がないわけなのです。

ネバダのものは同じ物質ですけども、放射線があると。プルトニウムが半減するのには、確か 2 万年かかるということです。その半減期がまた 2 万年。だから 4 万年。また半減期 6 万年。その放射能性がない、ということは想像を絶する時間帯（昔）に、何かそういう（核を使った）ことが起こっているわけ。自然界では発生しない。というのが、このグリーンガラスなのですよ。

それで、私がカナダの生徒らを（日本からも参加されて）、ボリビアに連れていったのですよ。そこで何を見せたかったかと言ったらね、あのプーマプンク（Pumapunku）と言った名前で、その石はこういう部屋とか、大きい石でね、こういうふうな柱、もう精巧、これ以上にキチッと切っているわけなのですよ。これは、ダイヤモンドでしか切れない石材なのですよ。あのダイヤモンドとか言ってね。非常に硬いもので。その物質にもないけれども、

それが、爆破されたように吹っ飛んでいるわけ、そこらへんにダーッと。散り散りばらばら。それで、それが組まれた場合には、ただのエネルギーでは吹き飛ばないわけですよ。組み方もね、非常に精巧で、とても複雑に加工していて、現在の技術でも至難の加工で組み合わさっているのが、あちらこちらに分裂しているから、想像を絶するエネルギーで破壊されたと思えないです。でも、そこに住む人は木もないし、草がただある現実だけ、それだけ(笑)、であるのだけれども、歴史研究学者は「ありますね」って。それでおしまい(笑)。回答なし。

前に述べたように、今から 13000 年前のアフラ・マズダーらの経典には、それに近いことが書かれるし、『ラーマーヤナ』のインドの経典には今から 4 万年前に、その原爆みたいなものを使って敵を滅ぼしたとか。それで宇宙船を使って、そういうものを乗りまわしたという。

ただ、そういうふうには、この世には森の木に葉がいっぱいあるでしょう。葉がいっぱい。もう汲(く)めども尽きないくらい(無尽蔵)のそういう話がいっぱい、この宇宙にはあるし。お釈迦様はこの手に乗るこの葉っぱだけの勉強してください、「掌中葉」とか言ったでしょう? 「手の中の葉」という。そのことです。こういうことだけを学んでくださいと。それが今、大切ですと。言うことなのですよ。

7 代目の人類

だから、現実的にはそういう話がいっぱいあります。それに私たちは「7 代目の人類」みたいですね、この地球上で。お釈迦様がある菩薩のときは顔がライオンみたいで牙を持っているという、あの体を(人類が)持っていたこともあるし。だから、これだけが人間の体だと思っただけは、またこう小さい殻の中で考えているということ。経典にもちゃんと書いてあります。だから、たくさんの精神界の方がこのような経典を読んでいないということに、私は驚きます。

今から 5th ジェネレーションが今のピラミッドを造ったと。大体、前の世代が 6th ジェネレーションで何か戦争をやって滅びて今 7 代目。いつの時代からそういうふうには造られたかと言ったら大体 6400 万年前。だから、マヤカレンダーが一番長い時間帯が 6400 万年前になるわけです。これは全く別の文献からピタッと合ってしまう。全く関係ない文献から。私たちの世界の常識からは途方もなく外れているでしょう。

だから、お釈迦さまが「ナーガ族はいる」と言うでしょう。その文献には「いる」と言うのです、ちゃんと。「私たちは地上に出ません」と。だから、私たちは、この地球は奇想天外な猿の惑星の世界で生活しているわけなのですよ。私がスリパーダ (Sri Pada) に、お釈迦様が説法をしたスリパーダ (スリランカ) という…。



難陀竜王をまつる出口池（忍草第一の霊場）

【司会者】

スリランカの。

【水源師】

アダムスピーク（Adam's Peak）という名前です。そこはね、お釈迦様が説法をして足跡があると。マルコ・ポーロがそこに行ったら「その山のとっぺんは宝石でいっぱいだ」と。それだけお釈迦様が尊敬されている国です。それで、私がどうしてもアダムスピークに行ってみたくて、スリランカにその昔、行ったのだけれども。そしたら日蓮宗系のお坊様がね、名前は忘れちゃった、いい人でね。「じゃ明日、一緒に行きましょう」って。それで、「あなたは2時間前に行ってください」と。「はい」って。私が上がっていったら、後でトンコトンコトんと来て45分で上がってしまう。それでスリパーダ。その村の人々からは尊敬されてね。「南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經」と、私の顔を見て（笑）。それだけよいことをしているわけですよ、まじめで。

それで「あなたにこのスリパーダのトップでね、太陽を見せてあげるから」と。ドンドンドンドン、ドンドンドンドンと。曇りだったけれどもね。フワッと太陽の光の映像が出てきて。まあそれだけの行をやっている方ですよ。それで、彼が言うときにアチェ地震（2004年のスマトラ島沖地震）のときね、そのときにトントコトントン途中まで行ったら脚がパンと動かないって。脚が。だから地球というのはこの人間の体あるでしょう？と、密接につながっているんですよ。地球が破壊されれば必ず全人類が絶滅。でもやっとの思いでね、脚を痺れさせながら山頂に上がって、後で分かったのはアチェ大地震で30万人死んだと。

だから、さっき言ったように、中国で火の粉を発したら、原発を落としたり、私たちがただで済むわけがないですよ。この地球上に大損害を与えた場合には6代目が全滅、全人類が。

だから体型も違うわけなんですよ。だから、5th ジェネレーションの場合はスフィンクスの顔あるでしょ。あの顔の角度と私たちの角度は大きく違うわけなのですよ。全く別の人種なのですよ。

それが 100 年前に人類の少年骨がモロッコで発見されたんですね。この骨は 100 万年前の人骨です。だから、私たちが人類 5000 年の歴史とか、10000 年とか。だから、99 万年の時間帯をミッシング（失っている）しているわけなのです。まあまあ、映画を見ているみたいな話ですが（笑）。私が言いたいのはこれくらい情報が違うということ。情報がね。ここに来る情報が。

毘盧遮那仏と UFO

【参加者】

話は変わるのですが、大日如来というのが何かちょっと気になって。

【水源師】

はい、毘盧遮那仏（ビルシャナ仏）ですね。毘盧遮那仏は形がありません。奈良の大仏は真っ黒く塗っていますが。それで私がね、最初にあのミャンマーで修行したときに、ヴィパッサナー（観）というわけ。ヴィパッサナーと。「ヴィ」というのは「ない」。あの「内を観る」と。あの「ヴィパッサナー」ってね。「ビルシャナ、これ似ているな、もしかして！」と。そう思ったわけです。

そして、光、ニミッタ（丹光、禅相）を出すと。これは間違いなく仏の光だと。直観で思ったわけ。まあ、毘盧遮那仏に遇えるという、そのまあなんというのでしょうかね。目がパッと開いちゃってね。それで、サーッと修行が進んだたわけです。

それで、「毘盧遮那、盧遮那、釈迦牟尼仏」、その毘盧遮那仏が原点で 1000 回、仏になった方。1000 回。千回成仏した人。盧遮那仏というのは 10 回。お釈迦様は 1 回。観音様は第 2 回を目指しているわけ。それで、あの阿弥陀様は仏の先生。全仏の先生。というふうに、私は教わっています。また、それだけの力があります。

だから、佛光山というお寺に行っただしょう？あれは毘盧遮那仏、仏の光。だから、また中台禅寺でも一番高いところに七つの星で、あの毘盧遮那仏様がお立ちになっているでしょう。でも禅寺だったですね。今から 1000 年前に、あの中国で密教が減びて、禅だけが残った。それが今、弘法大師様が持ってきてくれた、奈良の仏教の最高の仏、密教の最高の仏ですね。

私がこれから行くというインドネシアも 1000 年前に、奇しくも仏教が姿を消したわけです。その遺跡があるわけなのですよ。これは密教の寺院だと、すぐ分かりました。だから、密教と言えば、やはり護摩炊きですね。だから、もしかして私がちゃんとうまく修行できたら、そのボロボドゥールで 1000 年の時空を経て、また法灯を燃やすことができるかもしれない。仏教というものは壮大な大ロマンですよ、どういうところでも受け入れられるという。

私の言っていることは、すべて文献から話しているのですよ、私の想像ではないですよ。あのアメリカ政府も全部、世界の政府も知っているけど、イギリスでは以前から UFO とい

う情報を公開して、フランスも確か 5 年前から公開して。あのヒラリー・クリントンは自分で、UFO のサイトで公表しています。今、日本そう行ったら、まだ異常者の時代でしょう？

【司会者】

結構テレビでは…。

【水源師】

テレビではやっているけれども、ヒラリー・クリントンがまさかそういうインターネットでちゃんと自分で UFO サイトをつくっているとは思わなかったでしょう？それだけ、つまり、日本では「異常者」だけど、あっちでは「ヒラリー・クリントン」だから、常識のある人はそういうふうにはサイトをつくってやるし。イギリス政府では UFO サイトでちゃんと条例を全部公表しているし。フランスはそのずっと前。それからメキシコではみんなちゃんと見ていて「いっぱいあるよ」と。

この地上には 14 の惑星のエイリアンの宇宙船が来ているみたいです。それで、最後の一番下のクラスで、この二つがケンカして、それと、さっき言った 6400 万年前のナーガ族が隠れて、ケンカに入っていないけれども、その人間がその中に入ること、まあまあ漫画以上に奇想天外なこの地球。それから私がね、カナダの生徒をアスカライン（地上絵のナスカです）に連れていったのですよ。まるで原爆が起きた、なんかの跡みたいな。すべてがまっ平らでまっ黒げに焼けてしまっ。

だからお釈迦様が言うのはね、「瞑想をしっかりとしてください」と。まあ「そういうことを知るな」というわけではないのだけれども。その当時のときは世界旅行を私みたいにはできないし。情報もほとんどないし。そういうことよりもまず瞑想してくださいと。私の場合は、そういう情報も得ながら、こうして修行もできるし（笑）。なんと奇跡的な幸運があるのでしょ（笑）、私は思っ。これは皆さんにお渡ししなきゃと。だから、まあ小さなことは心配しないでくださいと。過去人類は 6 回、絶滅を繰り返しているからね。全く違う DNA で。それで、今 7 回目。これは仏教の話か、空想科学小説か分からなくなってしまったけれど（笑）。

100 年に 1 歳ずつ寿命が減る

【参加者】

それでお釈迦様が生まれた近くで、過去のすごく近くで、誕生されていたのですけれども。

【水源師】

はい。

【参加者】

弥勒菩薩もまた、その近くでまた誕生をされていたのですけれども。

【水源師】

そうなのです。そういうことをテラワダ（南伝）の方は言っています。すべてまたネパールで生まれると。というのは、実はね。カッサパ仏陀（迦葉仏）とゴータマ仏陀（釈迦牟尼仏）の時間帯はね、たぶん地球がもう一回、消滅して生まれて、そういう状態になるという。ちょうど花がね、冬になればしぼんでまた咲くと。という時間帯だと思いますよ。

なぜかといったら、これから私たちは100年に1年、寿命が縮まって行くんですよ。ということです。お釈迦様の説法によれば。それで、今から2500年前だから、 $2500/100=25$ 、25年その当時の平均寿命より下がっているわけ。現在は75歳が平均寿命ということね。ちょうど蠟燭の火で75年分あるのだけれども、中には今89歳とかね。あのポリビアに行けば53歳。アフリカのシエラレオネ（Sierra Leone）に行けば18歳（今は違うかも）。平均寿命ですよ。18歳。これがね。ずーっと下がって10歳になるには、あと6500年。それがそうなれば、人類の体は大体こういう五寸（約15cm）にもなるのかな。小人。あの葉っぱの上に乗ると言っていますよ。現在、ブラジルには実態として拳くらいのお猿さんがおります。

だから、そういうふうに1年ごとに退化していくらしいですよ。その100年ごとに1年ずつ寿命が落ちていくということは、結局、シエラレオネの現状を見ても、平均寿命が18歳だから、5歳になる子供がね、3歳の子どもを育てているわけなのです。それで、そこにはエンジニアもない。大学もない。だって、平均寿命が18歳だからね。すべてエイズで潰れて、それが現状です。だからそういうところでね、仏法を教えるって言ったって、高校を卒業するのに大体18年かかるでしょう。それもこういう日本で余裕があつてですよ。そういうところでは、日本のような教育を受けることは本当に夢物語と思います。

だから結局ね、今から6500年経ったら、あのちょうど10歳の平均寿命になると。体もこうだと。だから、あの釈迦様のテラワダでは「仏法は5000年しか続かない」と言っていました。人間いつまでも、あの未来は喜び輝きでいっぱいだと。進化して素晴らしい世の中になると。そう思っているのだけれども、実際は2500年前から25年減らされて。これがあと2500年したら50歳。

それからまた4000年、40歳引かれたらね。もう10歳とかになったら仏法があるところの話じゃないし。実際、現実の目として、あのポリビアに行ったでしょう？ 平均寿命がほとんど50歳に近い。あそこでは仏法を教えられる状態じゃないですね、ということなのです。だから、世界を見た場合には、こういうふうにお釈迦様の説法がピタッ、ピタッと合っていくわけなのです。高校に行ける人もどれくらいおるか。中学校すらどれくらいおるか、ポリビアでは。

そしたら、ただただキリスト教を信じる、信じる、それしかないですよ。こういうふうに法を学ぶ、禅をするという素晴らしい教えられる経済的な余裕のない社会体制で、また今は寿命体が長くない環境ですから、禅を学ぶことはとても難しい環境と思います。だから、ありとあらゆる宗教が、まあそういう運命にあるということで、そういうふうにお釈迦様の言うとおりに世界が進行しています。10歳から今度1年ごとにずーとね、年齢が伸びていって、結局、一周り周って、月が欠けるように降りてきて、10万年の生命体になったときに、弥勒菩薩が来ると。この1年1年、加算していって、無限大と言う数字がまた出てくる、「無限大」。

この宇宙がせいぜい 140 億年でしょう？ビッグ・バンから始まって。

劫（エタニティ）と異次元世界

だから、その次のカルパ（劫）という時代を、私がとても気にして調べたのですよ、一劫。一劫、二劫、十劫と。誰も正確に回答してくれないのですよ。回答はですね、「天女が 100 年に 1 回、（大体どれぐらいだったかな）一畳の石の上をずっと絹の布でサラット撫でて、まあそれが全部、減ってなくなるという時間帯だ」ということ。だから、なんというか訳の分からないことで（笑）。

それで、その英語ではね。あの一番近い言葉が「劫」というのが「eternity」というのがあるのですよ。エタニティ。エタニティというのは、「前エタニティ」「後エタニティ」で。前のエタニティと、後のエタニティ。前 500 年と 500 年後。仏教見たいなものね。それが一つで、あのエタニティというわけですよ。

それがどういうふうに時間帯を数えるかといったら、100 年前の考え方ですよ。文献調べたら。それしか残っていないから。その文献を調べたら、大体 1 マイルのダイヤモンドの山が 1 マイル、1.6km。小鳥が止まって、嘴（くちばし）でつつくと、それが全部消えたときに「前のエタニティ」が消え去ると。それでまた後の 1 マイル、1.6km のダイヤモンドの山が、小鳥が来て全部消えたときが、「後のエタニティ」で、これでエタニティということを説明している。

だから、物理学的にはね。こうなのですよ。私がこうして触ったでしょう？もうこの本の分子が私の手にくっついていてるわけですよ。こういう表現でやるわけなのですよ。これすら、これがすり減るにはどれくらいかかるか分からない。でもね、中国の地下鉄に行ったらね。階段が皆、すり減っているんですよ。（笑）。ということは、1 日、何百万人も通るから、実はそれも現実の話なのですよ。ただ、どういうふうに勘定するかは誰も回答していない。

ただし無限大。無量大数の彼方ということでね、この全宇宙をバラバラに砕いて粒にしたらね。そのプロト（原始）の数にしたら、10 の 72 乗しかないのですよ。ところが無量大数の彼方だったら 100 乗、200 乗、300 乗と、ブワッとあるわけなのですよ。

だから私が言うのは、現代の私たちがもう宇宙の中で最も進化したといっても、まだ赤ちゃんみたいじゃないかなと。幼稚園くらい。そういう現実をいろいろ見た場合には。私たちにとって一番いいのは「中道で、仲良く。人のために尽くして、そして法を学んでいく」、これがもう間違えない方法だと、私には見えました。違うかもしれませんが、もっと素晴らしい方法があるかも知れませんが、お釈迦様の方のように無量の時間帯での実証ではないと思います。ただ、私は「皆さんが実証して点検してください」と言っている。

つまり、私の話していることは現実の話、この地球上にある遺跡。実際のことなのですよ。『ラーマーヤナ』の文献にしろ、アンコールワットの遺跡にしろ、行ってみたら、もう曲線ですよ。こういう技術は私たちにはない。あのクスコに行っても、もうこんなものすごい石材加工の技術。彼らが言うにはコンキスタード（Conquistador：スペイン語で征服者）が来たときにマスターたちが隠れて逃げたと。他の次元に行ってしまったと。それで、私が言っ

たでしょう？ レインボウ・イーグルの時間帯が、今から2年前に、そこで瞑想すると。クスコの山で。マチュピチュね。そこには他の次元体に行く岩があるわけなのですよ。嘘か真か、そのシャーマンがそう言うから、行ってそこで瞑想したわけなのですよ。

そしたら私が坐ったら、瞑想を3時間していたら、後ろで見た人が昼のように岩が明るくなってね、バーッとピラミッドが出てきたという、ザーッと。写真撮ろうかと思ったくらい。そしたらなんと私が坐っていたら、やっぱり第四禅定で坐っていたら、スーッとコンドルが太陽に向かって飛んでいくのですよ。それで、太陽を通過したときに、他の天体に行ってね。そこから聖者がサーッと現れてきました。「ああ、なるほど。それで、ファラオが死んだら、太陽に向かって船を出す」と。太陽というのはただの太陽じゃなく、宇宙につながっているポータルだと。精神界の。だから、この全宇宙はバラバラじゃなく、すべて一体としてつながっているということが、そこで分かりました。それにまた他の次元体も、こういうふうに自由に行き来できるのだなという体験。

それで、お釈迦様がね、ラジギール（インド）の山で修行しているとき、弟子にね。このラジギールの山にはイシギリ（仙人掘山）という山があって、ここにあの500のパーチェカ仏陀（縁覚、辟支仏）が生きている、という経典があります。それで、私の弟子が聞くわけですよ。「先生これはどうしたことでしょうか」と。「本当に、どうしてあの岩の中に住んでおりますか」と。「いや、そりゃ当然、住めるでしょう」と。

私がチチカカのナーガの宮殿に行ったとき、そこでずーっと瞑想したら、岩の中がね、岩の中が空体次元（くうたいじげん）になっているわけなのですよ。それで、ちょうど窓ガラスからのぞくみたいに、あっちから光が女神に変わり、すっと現れ、ものすごい速さでお告げをするわけです。だから、私の弟子に「そりゃそうでしょう。パーチェカ仏陀（仏陀と同じ法を持ちますが、教えを伝えることができない）なんてもう永遠の生命体だから、そういう岩なんか、自由に空間を動いて住んでいるでしょう」と。

ありとあらゆる生命体

私たちの空間というのは、こういうガス状態だけれども、ある生命体にとっては、岩の中が私たちの世界の空気よりも薄いわけなのですよ。というのは、あのニュートロンという、ニュートリノという物質はね、この地球をスッと通過してしまうのですよ。そういう物質の生命体だった場合には、世の中がもう空気状と一緒。

お釈迦様が言うには、「宇宙には、ありとあらゆる生命体のかたちがあります」と。それで私が天界に上がって物質を調べた場合には、私たちの世界の物質はザラザラ。天界はツルツルです。本当にシルクのようにサラッとしている物質。だから、時空が違えば、全く私たちの考えている時空じゃないのですよ。

特に、あそこかな。あの木星、その雲の下には海もあるし、山もあるし、雨も降っている、といいますよ。あまりにもすごい圧力で、それから結局、水素が雲になったり、雨になったりとか、そういう状況が発生しているみたいです。それが Pluto（冥王星）もそのような、地球のような雨・雲があるらしい。

だから、温度とか、そういう圧力とか、そういう変化で同じ現象を起こしてしまうわけなのです。だから、そこには私たち人間の考えで、「生命体がない」と、学者は言っていたけれども、この頃は「(生命体が) あるかもしれない」となっている。なぜかといったら、この地球の3マイル(約4.8km)底に毒を食べて生きている生命体があるわけなのです。ヒ素、カドミウムって知っているでしょう？ あれを食べて生きている、そういう世界にバクテリアがいるわけですよ。酸素に触れたら、この生命体は死ぬわけなのです。

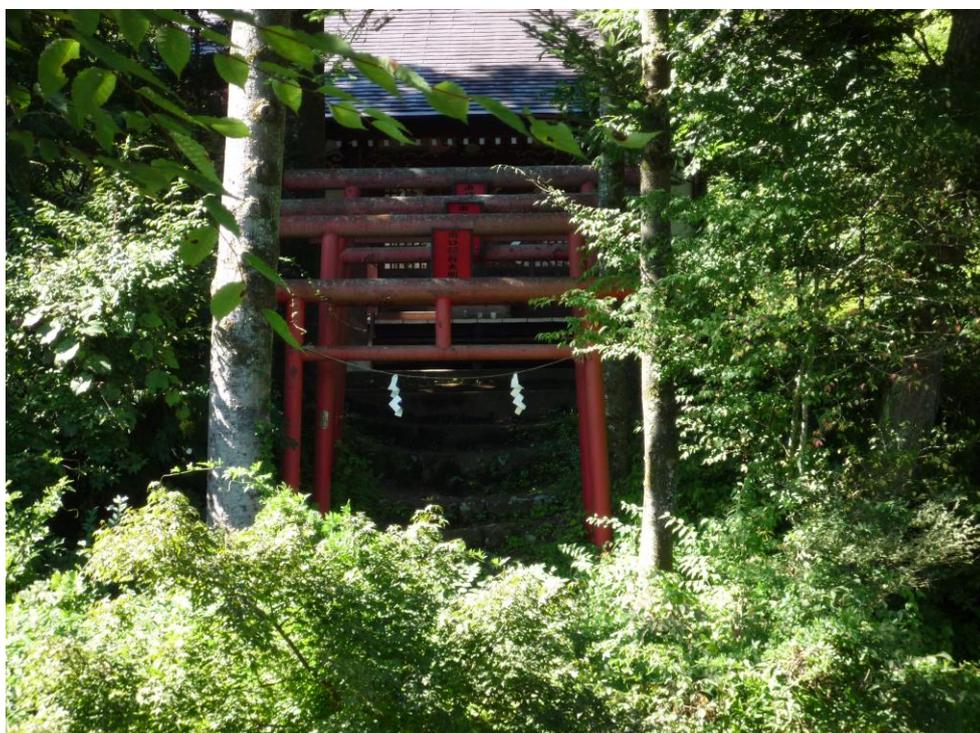
そういう発生からMIT(マサチューセッツ工科大学)の学者たちが言い始めたのは「全く違う生命体がある天体にはあるのではないかと」。だから、お釈迦様はとっくの昔に『金剛般若経』の中でちゃんと解説していますよ。

だから、そういうふうに「お経をちゃんとこう心で調べてみなさい」という、そのことなのです。ただ、タタタタと読み覚えではなく、ということで「いかに私たちが心で検証できる宇宙の法を体得できる幸せにあるか」と。こういうすごい叡智を学べるチャンスがある。だから、「明日、死んでも問題ない」ということ。またすぐ新しい体をもらうから、また。ここまでくれば皆さんもそうなのです。ただ嘖然とする話でしょう？ でもこれが本当に、MITとかが言っていることなのです。

だから、私が「日本政府は日本国民に優しくするべき」というのは「時間を与えて、叡智を学ばせなきゃいけない」と。それでこそ国として、その日本国民に恩義を返すことができるのではないですか？ 一生働いて税金を納めて、その挙句の果て、そういう学ぶ機会も与えずに、時間も与えずに、これは政治家に対しても、やっぱり声上げて、言うべきことは言わなければね。

まあ私がバーッと吐露したら嘖然として「何を言っているのか？」というふうになって逃げてしまうでしょうけど(笑)。世界はそういうふう動いています。センター(中心)は。だから、その国会議員とかが、日本を背負って立つ人たちは「勉強できる時間がない」。頭がないのではない、「勉強できる時間がない」。まず談合で、飲みに行かなきゃいけない。会合、会合で。そしたら、そういう学べる時間も何もないし、そういう学校で習った基本的なことまで動かすしかない。それは英才とか天才的だけれども。それには限界がありますと。それではやっていけません、ということですね。

いいですか、今日はこれくらいで。もう、盛りだくさん(笑)！



出口池の高台に建つ出口稲荷社

水源禪師法話集 13

(2012年9月16日 忍野合宿)

2014年9月20日 発行

編集兼発行 一乗会